

【第2回】タスクフォース活動報告

タスクフォース名：まちづくり推進タスクフォース

会議開催日時：令和3年2月15日（月）10時00分～11時50分

会 場：本庁舎3階 理事者控室

参加者：外山副市長、病院部局（医師1人）、市長部局（7人）、事務局（1人）

ゲスト：損保ジャパン魚沼支社（2人）、上田地域づくり協議会（1人）

会議の内容

- タスクフォース活動報告
- 前回会議の検討事項に対する委員からのご意見
- 損保ジャパンによる協力事業等の例について
- 上田地区地域づくり協議会について
- その他（各種事業者への協力要請について）

各委員からのご意見

- 上田農村環境改善センター（地域づくり協議会）を経由する市民バスの路線変更については、関係機関との協議が必要であり時間がかかるが、可能ではないか。
- デマンド交通を始める際には、タクシー業者等への協議が必要。
- 保健師、栄養士の行う各種教室などについては実施可能。
- 地域で中心となる人（全体をコーディネートする人）が必要ではないか。
- 訪問診療については、月1回5人程度であれば可能であり、比較的早く着手できると思われる。
- 介護予防事業として「まめでいきいき倶楽部」という月1回の教室を半年続ける事業を上田地区のいずれかの集落で開催する予定である。
- 重要課題である交通の面において、オンデマンドなどでは協力できる面があるのではないか。
- 上田地区は小学校が統合され、使われなくなった校舎の利活用について地元アンケートを行った。地域の拠点として、各種教室として利用するのが良いのではないか、という意見が多かった。今回の流れに乗って地域づくりを行いたい。
- 介護予防でやったことが稼ぎになり（内職や漬物づくり販売）、ふるさと納税の返礼品となったりするような事業となるとよい。

今後の課題・対応

- 訪問診療について、栃窪で実施している例を参考にして病院へ協議を始める。
- 介護予防事業の実施を集落ではなく地域づくり協議会で開催するよう検討する。
- 健康ポイント、商工会の各種ポイント制度、介護支援ボランティア制度などを統一して、地域通貨のシステムを構築できないか検討する。
- 地元企業1社に事業協力要請を行ったところであるが、地域に存在する他の事業者へも協力を要請していく。